

令和7年度 東京都立八王子南特別支援学校 学校経営報告

〈学校概要〉本校は、知的障害特別支援学校高等部普通科及び職能開発科を併設する学校である。平成30年に東京都教育委員会が策定した本校基本計画に基づき、令和6年4月に開校した学校である。「人権尊重を基盤とした一人一人を大切に作る学校」としてESD（持続可能な開発のための教育）を推進するとともに、「共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸ばして、社会に参加・貢献できる人間を育成」の実現のため次のような学校を目指していく。

- 教職員の知的障害教育に関する専門性を高め、生徒の力を伸ばし、自立と社会参加を実現する。
- 普通科と職能開発科併設による重層的なキャリア教育・職業教育の推進と就労支援・進路指導を充実する。
- 地域の高等教育機関や企業等との連携を図り、芸術教育・ものづくり教育を充実する。

〈学校教育目標〉

- (1) 主体的に学びに向かう態度を育てる。
- (2) 自ら考え、判断し、表現する力を育てる。
- (3) 社会に貢献し、役立つための力や働く力を育てる。

〈中期的目標と方策〉開校から3学年の生徒及び教職員がそろそろ令和6年度から8年度までの3年間を「学校教育基盤整備期」と捉え、中期的目標及び方策を以下に定める。

目標及び方策

目標1：人権を尊重した教育及び相談支援体制の充実

方策1：特別なニーズをもつ生徒の人権を最大限に尊重し、真摯に相談支援できるよう、スクールカウンセラー等と連携し全教職員の資質向上を図る。また、培った相談支援の専門性を地域支援に最大限活用できるように体制を充実させる。

目標2：外部機関及び外部の専門家を活用した専門性の向上

方策2：実績のある外部の専門家等を招聘し、専門性に基づく諸実践や業務ノウハウを共有できるシステムを構築し、培った指導の専門性や関係業務の遂行方法を組織として蓄積できるようにする。

目標3：学習シラバス・年間指導計画に基づいた教科等指導の充実

方策3：個人の経験と勘に頼らず指導できるように、学習指導要領に基づき、学習シラバスや単元計画等の指導計画を作成し共有できる仕組みを構築する。合わせて、若手教員等が今後の指導と学校運営を担えるように指導計画の蓄積やシステム整備を進め、効率的に継承できるようにする。

目標4：学校の組織的運営と働き方改革に資する職務の効率化

方策4：業務の見直し及び会議の簡略化等により効率化を目指したシステム改善を推進する。教職員の育児休業、介護休暇取得など、それぞれのライフステージに合わせたライフ・ワーク・バランスを推進する。

目標5：安心・安全な教育環境の整備

方策5：防災・防犯のための物品や設備の整備・充実させるとともに、生徒の健全育成や防災体制の整備等に向けて地域との連携を構築し、生徒の安全・安心の確保に努める。

目標6：個人情報適切な管理及び事故ゼロを目指した体制の構築

方策6：校舎内外の安全点検及び教職員のクリーンデスクを徹底するとともに、万一の事故を教訓とした再発防止策を講じる。合わせて、不適切な指導、体罰、ハラスメント、サービス事故を絶対に起こさない。

1 今年度の取組目標と方策に関する実績等

(1) 重点目標1 学校全体が一体感と誇りをもてる教育活動等の展開 **自己評価 ◎**

方策1 <主管：教務部、経営企画室>

- ① 多様性を尊重した学校としての一体感の醸成（各教科等、行事、宿泊学習他）
【生徒評価】他学科の生徒との交流について80%が肯定的な回答。
【生徒評価】行事について92%が肯定的な回答。
【教員評価】一体感のある取り組みについて、97%が肯定的な回答。
- ② 学校の良さ発信（HP更新とInstagram等発信の強化・広報充実他）
【地域・連携機関評価】ホームページに関しては連携機関の79%が見たことがあると回答。
Instagramの閲覧については24%。内容の充実については、47%が肯定的な回答。
- ③ 学校環境の整美（校内掲示統一等）
【保護者評価】100%が肯定的な回答。
【教員評価】「97%が肯定的な回答。
【地域・連携機関評価】71%が肯定的な回答、否定的な回答は0%。

(2) 重点目標2 自立と社会参加を目指す教育の充実 **自己評価 ○**

方策2 <主管：各教科等、進路指導部>

- ① 特別専門講師・外部専門員を活用した職業教育の改善及び充実（特に、普通科・作業学習、職能開発科・職業に関する専門教科）
【教員評価】97%が肯定的な回答。
- ② 体力向上・健康の保持
【保護者評価】98%が肯定的な回答。
- ③ 労働・福祉機関との連携と連携企業の確保
【地域・連携機関 自由記述】「ご縁があり、今年度より生徒の実習を受け入れております。今後も「現場実習」「インターシップ」「職場見学」等、積極的に対応させていただければ幸いです。」
「カフェを利用したい。雰囲気、制服、マニュアル、指導など、弊社の社内カフェ開始にあたり勉強させてもらいたい。」
- ④ 保護者への情報提供（見学会、講演会）
【保護者評価】95%が肯定的な回答。

(3) 重点目標3 専門性のある人材を活用した教育の充実及び授業力の向上 **自己評価 ○**

方策3 <主管：各教科等、教務部、進路指導部>

- ① 他校見学や教員相互の授業観察を通じた継続的な授業の改善
- ② ICT機器及び一人1台端末等デジタル技術を活用した授業の推進・教材開発
【教員評価】100%が肯定的な回答、【保護者評価】86%が肯定的な回答。
【生徒評価】ICT機器を使いこなすことに17%は否定的な回答。
- ③ 東京都事業と連動した外部講師の活用（がん教育、東京都就労支援アドバイザー等）
- ④ 地域の高等教育機関等との連携を図った教育活動の展開（東京造形大学等）

(4) 重点目標4 生徒が安心して学校生活を送れる指導体制の構築 **自己評価 ○**

方策4 <主管：生活指導部、経営企画室>

- ① スクールカウンセラー等の活用におけるいじめや自殺等の未然防止
【生徒評価】【保護者評価】【教員評価】の大半は肯定的な回答。
- ② 特別支援教育士等の活用による支援体制の構築
→特別支援教育士・臨床発達心理士による生徒アセスメントの実施（10回）、言語聴覚士による助言（6回）、作業療法士による助言（4回）の実施
- ③ スクールバスの安全な定時運行及び一人通学の促進

【保護者評価】91%が肯定的な回答。

→ スクールバス添乗員等との連絡会の実施、放課後等デイサービス事業所との連絡会の実施（2回）

- ④ 安全でバランスの取れた給食の提供

【生徒評価】92%が肯定的な回答。

- ⑤ 総合防災訓練の実施及び危機管理マニュアルへの反映

→ 立川防災館への体験型校外学習及び総合防災訓練、月例の避難訓練の実施

- ⑥ スクールカウンセラー等の活用におけるいじめや自殺等の未然防止

→ スクールカウンセラーによる全員面接及び希望生徒の面接の実施（延べ299回）

(5)重点目標5 学校広報活動の充実 自己評価 ○

方策5 <主管：教務部>

- ① 教育委員会及び中学校訪問による適切な情報提供（中学校教員向け進路相談、出前授業等）

→ 八王子市、町田市、多摩市の小中学校教員向けの学校見学・研修会の実施、都内公立中学校への訪問及び特別支援教育相談の実施（61回）

- ② 入学希望者向けの学校説明会の充実

→ 生徒・保護者、教職員等向け学校見学会の実施（15回）

- ③ 就業技術科設置校と連携した職能開発科における募集対策

→ 南大沢学園学校説明会と連動した学校見学会の実施（3回）、職能開発科最終出願倍率1.90倍

- ④ 入学相談・入学者選考の適正な実施

→ 普通科入学相談の適正な実施、職能開発科入学者選考の適正な実施

(6)重点目標6 効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上 自己評価 △

方策6 <主管：主幹会、教務部、経営企画室>

- ① 業務改善提案の積極採用による効率的な方法の導入（例：会議の効率化）

→ 主幹教諭を中心とした担当業務の整理、短時間による会議の実施

- ② 全教職員の業務量の平準化を目指すための全分掌業務リスト作成及びDX化推進（分掌業務一覧）

【教員評価】業務量の平準化については、「そう思う」が32%。

- ③ 教職員のメンタルヘルスケアとライフプラン構築へのサポート（産業医面談、キャリアコンサルタント他）

→ キャリアコンサルタントによるキャリアに関する研修会及び教員面談の実施（延べ23名、）

- ④ 在庁時間の縮減。長期休業期間中に休暇取得奨励期間の設定

→ 学校休業日5日間の設定、休暇取得促進

(7)重点目標7 教育活動を推進する校務運営組織と支える経営企画機能の連携を強化 自己評価 ○

方策7 <主管：経営企画室>

- ① 学校経営計画の具現化に向けた合理的・効果的な予算執行

→ 予算編成指針に基づく自律経営推進予算等の執行（執行率：99.9%）

- ② 職員室と経営企画室の緊密な連携による学校事務や窓口業務の円滑化

【教員評価】95%が肯定的な回答。【保護者評価】99%が肯定的な回答。

- ③ コンプライアンスの徹底と組織的な情報共有・管理の体系的な整備

→ OJTによるコンプライアンスの徹底及び根拠に基づいた業務の励行、会計処理（公費、私費）において、処理の複数確認による適正化の順守

2 数値目標達成状況及び評価

◎達成 ○ほぼ達成 △課題あり

【学校経営】	数値目標	達成状況	評価
① 教職員全員が、常に人権感覚を磨き、児童・生徒の人権を尊重し、体罰、ハラスメント、行き過ぎた指導のない教育を行う。	人権に関する研修：年3回以上)	研修：10回 実地研修：1回	◎
② 公立学校の教職員として、保有個人情報保護の保護、守秘義務を厳守するとともに、自らサービスの厳正と健康の保持・増進に努め、サービス規律を遵守する。	サービス事故：0件	サービス事故：0件	◎
③ 教職員のライフ・ワーク・バランスに努め、全教職員が健康で充実した職務遂行に当たれるようにする。	定時退庁日：月1回	開校2年目でもあり、一部の教員が業務負担	△
【学習指導】	数値目標	達成状況	評価
① 生徒ケースに関する研修を定期的に行い、全教員が生徒の指導・支援方法を共有する。	年12回以上	毎月生徒ケースに関する研修を実施	○
② 一人1台端末等を活用して、ICTを活用した教育を推進する。	全教員が活用	利活用については継続的に研鑽が必要	○
【進路指導】	数値目標	達成状況	評価
① キャリア教育の充実に向けた職場見学会、研修会、講演会を実施する。	年4回以上	生徒一人当たり3から4回実施の職場見学を実施 保護者向け見学会及び講演会：年6回実施	◎
② 生徒の多様なニーズに対応できる産業現場等における実習先を確保する。	50事業所以上	協力事業所：50事業所	○
【生活指導】	数値目標	達成状況	評価
① いじめ、体罰、学校からの行方不明、骨折等の負傷事故、スクールバス降車忘れ事故を起こさない。	年0件	重篤な学校事故：0件	◎
② 地域関係機関と連携した総合防災訓練を実施する。	年1回	消防署、南大沢五丁目防災会等と連携して実施	○
【その他】	数値目標	達成状況	評価
① 令和8年度入学者向け説明会、個別説明・事前相談を充実する。	説明会：年20回以上 個別説明：150件以上	校内外含む説明会：20回 個別説明：159件	◎
② 教員と経営企画室担当とが連携するとともに、学校事務に係る会計処理や事務処理等を適正に行う。	学校事務に関する事故：年0件	自律経営推進予算執行率：99.9% 会計年度内決算完了	◎